

令和2年全国山火事予防運動

林野庁では、3月1日から7日にかけて「全国山火事予防運動」を実施し、「守りたい 森と未来を 炎から」を統一標語として、全国で山火事予防意識の高揚を図る運動や、森林パトロール等を実施してまいります。

林野火災の発生（写真提供：福島県）



「全国山火事予防運動」の今年のポスターには、静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校3年の椎野夏生さんの作品が、標語には、山口県私立柳井学園高等学校1年の有福美有さんの作品が選ばれました。



山火事予防パレード（写真提供：北海道森林管理局）

春は山火事にご注意ください

山火事は、例年春先に集中して発生します。この時期は、空気が乾燥し、森林内の枯草や落葉が燃えやすい状態になっています。さらに強風等の条件が重なると、たき火などから火が燃え移って山火事が発生し、焼損面積が拡大する危険性が非常に高くなります。また、山菜採り等で山に入る人も増えることから、たばこの火の不始末などによる火災発生に注意が必要です。平成31年（令和元年）においても、3～5月に多数の林野火災が発生し、特に、福島県郡山市や北海道雄武町で大規模な山火事が発生しました。

山火事は一旦発生すると、消火は容易ではなく、また、長い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬にして失うこととなります。空気が乾燥している日や風の強い日には、たき火や火入れをやめるなど、特に火の取扱いに注意が必要です。

一人ひとりが火の用心を心がけ、日本の素晴らしい森林を守り、後世に引き継いでいきましょう。

【近年の林野火災の発生状況】

区分／年次	H26	H27	H28	H29	H30	平均 H26 ～ H30
出火件数 (件)	1,494	1,106	1,027	1,284	1,363	1,255
焼損面積 (ha)	1,062	538	384	938	606	706
損害額 (百万円)	1,369	255	157	900	202	577

資料：消防庁統計資料に基づいて作成

出火件数と焼損面積を1日あたりに換算すると、全国で毎日約3件発生し、約2haは焼失していることになります。



空中消火活動 (写真提供: 山梨県)

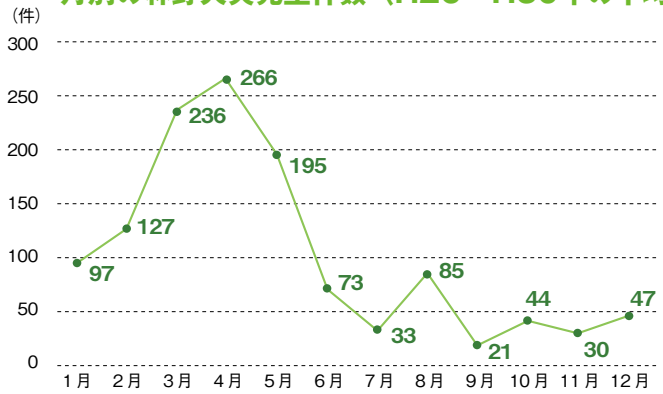


地上消火活動 (写真提供: 北海道)



現地対策本部 (写真提供: 北海道)

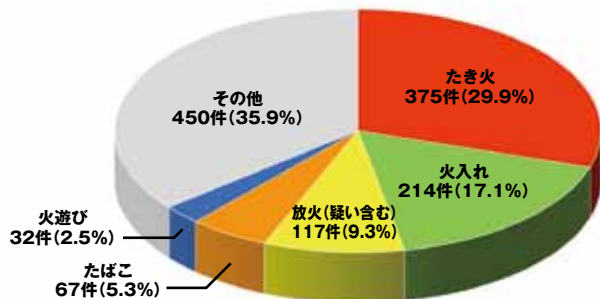
月別の林野火災発生件数 (H26~H30年の平均)



資料: 消防庁統計資料に基づいて作成

過去5年間 (平均) で発生した林野火災の件数は、1,255 件で、その半数以上は3~5月に発生しています。

出火原因別発生件数 (H26~H30年の平均)



資料: 消防庁統計資料に基づいて作成

過去5年間では、たき火で全体の約3割を占め、次いで火入れ、放火 (疑い含む)、たばこの順となっています。

林野庁からのお願い

- ① 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ② たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ④ 火入れをする際は、市町村長の許可を必ず受けること
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ⑥ 火遊びはしないこと



山火事防止のシンボルマーク「まといりす」

「万が一」に備えて... 森林保険をご活用ください

森林保険は、森林所有者を被保険者として、森林についての火災、風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害、噴火災による損害を総合的に補償する保険で、平成30年度には風害や雪害を中心に約7億円の保険金が支払われました。

山火事予防と併せて、山火事や台風、集中豪雨等への備えとして、森林保険への加入をぜひご検討ください。

◆森林保険のお問合せ◆お近くの森林組合、森林組合連合会、または森林保険センターへ
(国研) 森林研究・整備機構 森林保険センター (代表) 044-382-3500

森林保険
イメージキャラクター
マモルくん

